

「意匠登録」取得しました

先月、グリースのジャバラ容器に貼るラベル（400g用、80g用）を作成し、意匠登録しました。お客様からのご要望もあり、種類や番手の識別のために作成したものです。ぜひ、有効にご活用ください。



「磐高物語」 8

磐城女子高校は、旧平藩の本丸跡に連なる丘陵地に建っていた。西の男子校・磐城に対し女子高の磐城女子は東側にあり、県内の名門校として幾多の優秀な人材を輩出していった。

私たち磐高生にとっても良きライバルであったが、同時に青春の憧れのような淡い想いを持っていたことも事実だった。

当時としては非常にめずらしいことに、両校卓球部の交流があった。これを実現させたのは、両校のキャプテンであった磐城女子の佐藤さんであり我が校の宮崎先輩ではなかったかと思う。

このとき初めて、佐藤さんが中学の先輩であり家も歩いて五分ほどの所にあることを知った。そんなことから、練習帰りの道すがらフォームやサービスの出し方などを教わった。

昭和三十年代の我が町は、漁業が盛んで特に鮭鱒の北洋漁業が最盛期を迎えていた頃で、料亭で

『磐城女子高校卓球部』

あった我が家は毎晩酔客のうるささと爛太郎（酒の爛をする）で勉強どころではなかった。

そんな環境がいやで、迷惑を掛けていることなどすっかり忘れ、よく佐藤さんの家に勉強を教わりに行った。大きな家でお店の横から階段があり、六畳ほどの部屋になっていて真ん中に円いテーブルが置いてあった。母（生母）の居ない淋しさに、甘えてみたい想いがあったのかも知れない。



我が校で練習があったとき、帰りしなに一年上の有馬さんから白い封筒の手紙をいただいた。彼女はともきれいな方で、先輩たちの憧れの的でもあった。そんな方からの手紙、何が書いてあるのか全く予想もつかなかった。

「人の一生は重荷を負いて遠き道を行くが如し急ぐべからず。不自由を常と思えば不足なし。堪忍は無事長久の基。」と、記してあった。

わたしは、今でもこの言葉を大切に心の支えにしています。

☆ あとがき ☆



先月、念願であった岩国の錦帯橋と安芸の宮島そして広島へ行ってまいりました。半世紀前に訪ねた時と違ったのは、岩国・広島・岡山の三城を観るチャンスがあったことと美味しいお好み焼きが食べられたことですね。

倉敷では内海（今井）さんを囲んで、三人で酒を酌み交わしながら楽しいひと時がもてたことでした。今井さんありがとう、また会いましょう。